

2026年度 獣医学研究科 博士課程 第1期入学試験問題
(選択： 獣医衛生学)

【出題の意図】

- 1 牛における母子免疫の成立機序について概要を説明しなさい (40点)。

本設問は、牛に特有な生理学的・免疫学的特性を踏まえ、出生後に成立する免疫の仕組みを体系的に理解する必要性を認識しているかを確認することを目的とする。あわせて、母体側と子側の生体機構が時間的制約のもとで連動して機能することを因果関係として捉え、家畜種ごとの違いが出生直後の管理や疾病リスク、さらには健康維持や生産性に直結することを理解しているかを評価する意図がある。

- 2 乳房炎を感染様式から2大別し概要を説明しなさい (30点)。

本設問は、乳房炎を感染様式という枠組みで体系的に捉え、臨床および飼養管理の現場における防除対策へと結び付けて考える基礎的思考力を有しているかを確認することを目的とする。あわせて、搾乳作業や飼養環境との関係性を踏まえ、感染様式の違いが衛生管理や対策の考え方に直結することを理解し、実践的な意義を認識しているかを評価する意図がある。

- 3 生産環境限界およびそれに関連する事項について概要を説明しなさい (30点)。

本設問は、家畜の生理的特性と環境条件との関係を基盤として、生産性や健康状態の変化を環境要因から説明する必要性を理解しているかを確認することを目的とする。あわせて、複数の環境要素が相互に作用して生体に影響を及ぼすことを踏まえ、畜舎環境の評価や改善が生産管理および疾病予防において重要な意味を持つことを認識しているかを評価する意図がある。